

第3回 芳野地区

川合市長と語り合うタウンミーティング

日時：平成21年4月30日（木）

午後6時30分～8時30分

場所：農業ふれあいセンター

対象地区町字名

大字谷中、大字北田島、大字鴨田、大字石田本郷、大字菅間、大字伊佐沼、大字鹿飼、
大字上老袋、大字中老袋、芳野台一丁目、芳野台二丁目

参加者

1 性別

男性	74
女性	11
無回答	2
合計	87

2 年齢別

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
男性	0	0	0	4	27	38	5	0	74
女性	0	0	4	2	4	1	0	0	11
無回答	0	0	0	0	1	1	0	0	2
計	0	0	4	6	32	40	5	0	87

3 職業別

	学生	会社員 公務員	自営業	主婦	農業	その他	無回答	計
男性	0	25	19	0	24	6	0	74
女性	0	1	1	8	1	0	0	11
無回答	0	0	1	0	0	1	0	2
計	0	26	21	8	25	7	0	87

出席者

市長、大野副市長、石川副市長、代表監査委員、総合政策部長、総務部長、市民部長、
福祉部長、環境部長、都市計画部長、建設部長、教育総務部長

意見数

1 会場

発言者数... 15人 複数回発言した方も1人として集計しています。

意見内容

分類	件数	内容	頁
教育・文化	5	・学力テストについて	5
		・学校での感動体験について	6
		・部活動の活性化について	6
		・教室の空調について	6
		・余裕教室の活用について	8
福祉	2	・手話通訳者の配置について	6
		・子育て支援事業について	8
道路・交通	6	・仮称川越東環状線について	4
		・工業団地の道路整備について	4
		・橋の整備について	4
		・通学路の歩道整備について	5
		・自転車の無灯火対策について	7
		・埋立地上の道路拡張について	9
環境・衛生	1	・河川敷のモトクロス場について	7
公園	1	・伊佐沼の整備について	10
市職員	3	・職員の接遇について	4
		・職場の整理・整頓について	4
		・障害者の職員採用について	6
災害	1	・消防署について	7
議会・選挙	1	・政務調査費について	9
その他	6	・タウンミーティング(ご意見用紙)について	4
		・斎場について	8
		・市政の優先順位について	9
		・タウンミーティングについて	10
		・市の調査機能について	10
		・市庁舎について	10
計	26		

2 ご意見用紙

時間の都合でご発言いただけなかった方につきましては、会場入り口に「ご意見用紙」を設置し投かんしていただきました。

分 類	件数	内 容	頁
道路・交通	4	・川越市駅と霞ヶ関駅の間に新駅をつくってください。	1 2
		・神明町車庫を川島へ移設し駐車場にしてください。	1 2
		・川越市駅の地下に改札口を設けてください。	1 3
		・西武新宿線を地下へ引き込み、その上を道路にしてください。	1 3
都 市 計 画	2	・川越市駅と霞ヶ関駅の間を区画整理してください。	1 2
		・本川越駅西口開設のため、開発を進めてください。	1 3
そ の 他	2	・川越駅西口の市有地を売却して、お金は都市計画のために活用してください。	1 2
		・川越市駅、本川越駅の地下をつなぐ地下街を建設してください。	1 3
計	8		

意見交換（要約）

《仮称川越東環状線》

意見 芳野地区に 16 号から落合橋を結ぶ国道級の道路をつくっていただければ、道路開発あるいは埼玉医大もさらに生きてくると、そんな感じを持っております。

鹿ノ戸都市計画部長 仮称川越東環状線といいますのは、国道 254 号から川越工業団地を過ぎまして国道 16 号を連絡する幹線の環状道路として位置づけているところがございます。ここにつきましては 4 車線構想というのがございます。今の現道を拡幅させていく中で、工業団地のところは既存の道路が少し広いものですから、暫定的に 15 メーターの幅員で整備していく方針を決めさせていただきまして、254 号の交差点のところから順次整備を進めさせていただいているところがございます。

川合市長 基本的には、とりあえずできることとして、既存の道路をうまくつなげて、254 号から 16 号までつながるようにするという考えで整備を進めていきますということですね。

《職員の待遇、職場の整理・整頓、タウンミーティング（ご意見用紙）》

意見 職員の待遇は一体何ですか。それから、狭隘化ということをお願いしますが、机の上を見てごらんください。それで一体狭いと言えるのかと。そういう職員教育、これを真剣になって取り組んでいただきたい。

ここに意見何がありましたら記入してくださいと書いてありますが、ここで記入して意見箱に投函できますか。私は用紙をいただいて、それで別途ご提案をさせていただきます。

川合市長 私は就任のときに職員に対する訓辞の中で、公務員はサービス業と思ってほしいというようなことを申し上げました。態度、言葉遣いについては十分注意してほしいと思っていますが、抽象的な訓辞を与えただけですので、なるべく早く職員の対応についての改善をしたいと思います。

机の上の問題ですが、特に市民の方の目につくところについては余り不快感を与えないように、きちんと整理整頓をするように指導していきたいと思っております。

《工業団地の道路整備、橋の整備》

意見 芳野に工業団地を造成していますが、十字で抜けて、医大の脇の農道をもう一本ふやして一方通行にして、間にグリーンベルトをつくって、アイドリングしないで駐車できるような施設をつくってほしいと思います。

それと、そのほかに県道のほうを矢印信号で抜けやすくしてほしい。それから、川島

に、土橋のところを抜くようにお願いします。

染谷建設部長 生活道路だと思いますが、ご要望いただいて順次必要なところから進めています。ぜひ自治会を通してでも要望していただければありがたいと思っています。それによって順位を決めまして、順次進めていきます。

土橋につきましては、もう 15 年ぐらい前の話だと思いますけれども、現地を調査した経緯がございます。芳野の工業団地の道路から土手までの距離が短くて結びつかないというのが現状のようです。

橋をつくと工業団地の中心にある道より高くなって今の道路との接続が難しいということで、いろいろ調査しましたが、結論が出ないままになってしまいました。ここで建設部に戻ってまいりましたので、現地を見ながらもう一度検討したいと思います。

県道の話は、やはり管理が川越県土整備事務所ですから、御要望を言っていただければ、場所については県土整備事務所に要望してまいりたいと思います。

《学力テスト》

意見 埼玉県義務教育の問題は子どもたちの進路です。業者テストをやめたから、進路の資料もありません。神奈川なんかは教育委員会で問題をつくって、その資料で進路相談ができるわけです。テストも偏ったものでなくて 9 教科して、それをもとに進路相談をするような形を行政で考えていただきたい。

石川副市長 ご指摘はもっともだと思っております。そういうことを改善するために今、公的学力テストというものを導入し、中学校の進路指導を高めていきたいと思っております。子どもたちは、大人になるまで育っていく過程を歩んでいるわけでありまして、それぞれの過程に必要な教育をする、その中に進路指導というとても大事なことがありますので、肝に銘じてやっていきたいと思っております。

《通学路の歩道整備》

意見 工業団地の南側の道路が 7 メーターに広がるという話らしいですが、7 メーターだと歩道がつかないという話です。そこは通学路なので、時間制限のスクールゾーンにやっとしたところですが、7 メーターでも結構ですが、歩道をつけていただきたいというお願いです。

染谷建設部長 7 メーター道路だと 75 センチずつの U 字溝が入るとは思いますが、残りの 5 メーター 50 センチが車道部分という道路だと思います。白線のところは、75 センチ、1 メーターないわけです。その道路のどちらかに歩道を整備するには、もう一度買収させていただくような話になると思いますので、ぜひ道路建設課にその内容を説明してください。私も一緒に伺います。

川合市長 今の問題につきましては、具体的な場所等をご指摘いただければ、なるべく早く対応をしていきたいと考えます。

江田議員 工業団地の南側に面した側道がございます。今までそれは4.5メートルだった道を7メートルにしようというようです。そこを今まで通学路で使っていたのですが、生活道路でありますので市と相談して7メートルで計画して、今施工しているわけです。

《手話通訳者の配置、障害者の職員採用》

意見 市役所に行きますと、手話を使って相談できる窓口というのが非常に少ないのが現状です。手話で対応のできる職員をふやしてください。また手話が使えぬ聴覚障害の職員の採用ということももう少し検討していただけたらなと思います。

吉野福祉部長 福祉部障害者福祉課に2名手話通訳のできる職員がいます。これはほかの市と比べると、正規の職員で2人いるというところはかなり充実していると考えておりますが、採用部署のほうでもっと採用していただきたいというのが私の意見というか、お答えです。

聴覚に障害のある方の職員としての採用の件ですが、現在、川越市役所では身体障害だけですけれども、知的障害、精神障害の方も含めて障害のある方をもっと市が率先して採用すべきだというのは私どもの意見でございます。

川合市長 状況を調査して、もし聴覚障害の方に余りにも不便をかけているということであれば、アルバイトのような方を入れるとか、そのような方法も対応として考えていきたいと思っております。

障害者の方の積極的な採用はあるべき姿であると考えますが、職員の定数などとの兼ね合いもございますので、できるだけ前向きにやっていきたいと考えております。

《学校での感動体験、部活動の活性化、教室の空調》

意見 ゆとり教育からか、行事がすごくカットされていて、卒業するとき何が感動したと聞いてもあまりないと思っています。子どもたちに何か希望を持つような、経験をぜひさせてあげてほしいと思います。

高校の中退者が多い、ニートが多いというのは、部活など苦しいことを経験させないで育つから仕事が長続きしない、我慢ができない、そういうところに行くんじゃないかと思っています。私立中学に行く子はふえていますが、公立の中学校に行くと頑張るんだというような学校になってほしいと思います。

ビルの中でクーラーのない教室に30人閉じ込められて勉強しろと言われてたら、昔と違って、多分かなり暑いです。その辺の環境も整わないと私立へ入れてしまう一つにも

なるのかななんて思いました。

有山教育総務部長 最後の、空調の関係については、確におっしゃるようなことで、厳しいということはよくわかりますが、今の段階では学校施設の耐震のほうを優先していきますので、そちらが収れんに向かう段階で、今おっしゃられたようなことは検討させていただきたいと考えております。

以前中学校で文化祭はとてもできないということがありまして、学校と、地元の人が一丸となって文化祭をしたことがありました。今おっしゃっている中身まで全然近づきませんが、そういう事例をどんどんふやしていきたいと思います。

川合市長 子どもに感動体験を与えるような、子どもの教育にとっては考えていかなければいけないという思いは私にもあります。

私の個人的な考えですが、こういうような社会でいくと、本当に将来どうなるのかなという不安もあります。我々が育ってきたように、小さいうちから経験をしていく中で、自分自身で学んでいくというプロセスを経させなければいけないのではないかという思いはあります。これは行政が担わなければならない部分と、家庭や地域社会で担わなければならない部分もあると思います。一緒になって向かっていけば、私が心配しているようなことはだんだん少なくなっていくのではないだろうかと考えています。

《河川敷のモトクロス場》

意見 入間大橋の河川敷のソフトボール場ですが、河川敷の土手を隔てた向こう側にモトクロス場があります。そこで大会が始まると、ソフトボール場が駐車場になってしまいます。駐車場にしてしまいますと、ボールもちゃんと弾まなかったりします。できればソフトボール場は駐車場には貸さないでいただければなというお願いです。

染谷建設部長 お話のモトクロス場は河川敷と言っても官地ではありません。個人が持っていて、それを使っているという状態です。ぜひやめていただきたいと言ったのですが、大会のときだけは貸していただきたいと。ただ条件はついています。雨が降って下がゆるい時期やソフトボールの大会のときはだめだとか、今ボールが弾まないという話ありましたが、そういうことのないようにやっていただくということになっていますので、お話は主催者側に川越市として伝えていきます。

《自転車の無灯火対策、消防署》

意見 自転車の無灯火について、自転車でも自動点灯というのがありますよね。これを全国に先駆けて川越市から義務化の条例を発信したらどうかと思っています。

川越の神明町の本署はかなり狭い場所ですが、今ある本署を、バイパスの東側の農地などに移転をして、いい基地をつくっていただければ、将来的には川越市としても安心

かと思っているので、ぜひ検討していただきたいと思います。

大野副市長 防災基地ということでございます。今の消防署ですが、大きな震災の時、非常に危険な建物ということは言えると思います。芳野地区は広い土地があります。候補地としては考えられないわけではありませんが、全体の中でバランスを考えないと消防施設はできません。東西南北どこへでも消防はある程度範囲をもってやらなければならない。そういった中で検討してまいりたいと思っております。

川合市長 無灯火自転車の問題ですが、これは条例でやめさせる方法がいいのか、啓発活動で何とか改善できないかどうか、その辺も含めて検討してみたいと思います。

《子育て支援事業》

意見 芳野公民館で子どもの遊び会をもう4年ほど前に始めています。地域の中でもできるだけのことはさせていただきますが、行政の中でも子育て支援事業を地域と連携しながら進めていっていただきたいなと思います。

吉野福祉部長 ただいまのご意見は私どもにとっても大変うれしい提案で、つどいの広場、子育て支援センターなどを実施しておりますが、地域で自発的にやっていたいているボランティアなどと連携をするというご提案は素晴らしいと思います。所管部門も含めて検討させていただきたいと思います。

《余裕教室の活用》

意見 今の案ですが、少子化で教室が余ってきているから、場所的なものとしては、その辺のところを検討されたいかがかだと思います。

有山教育総務部長 学校では一見すると余っている教室がありそうな感じがしますが、実際には少人数学級など、昔と違った使い方で利用しております。

何校かは今おっしゃったような意見に近いようなところもありますが、これから開発が進んでいきますと、余裕教室はなくなるというような状況も出てきています。

意見 現実には余っているところの名前を取ってつけて部屋にしているだけで、年間利用回数はそんなにありません。

川合市長 遊んでいる施設があればそういうようなところを使って、子育てのための場として、地域のボランティアの方たちのお力もいただいて充実させていきたいと考えております。

《斎場》

意見 公約の中に火葬場の移転ということ掲げましたが、時期はいつごろを考えているのでしょうか。

火葬場というのは要らないというか、そういう地域が多いと思います。例えば川島と

手を組むとか広域で使うようにすればもっと安くなると思いますが実現性はありますか。

川合市長 斎場、火葬場については、なるべく早くというふうにはしかお答えのしようがないのですが、ほかの市の例などを見ると8年から10年ぐらいかかっているという状況です。極力前倒ししてやっていきたいと考えております。

広域でつくる、周辺の自治体と一緒につくるというのも考え得る選択肢の一つで、検討対象にはしております。ただ、広域でつくるとなると川越市単独より時間はかかるだろうと思っています。

《埋立地上の道路拡幅》

意見 昭和46年か47年にごみ、危険物を埋めた上に泥をのせておいた所を道路拡張しようと思って建設部と環境部に行きましたが、ごみで埋まってるからと言われたのですが、どうにかしていただきたいんです。

染谷建設部長 民地の場合、知らないで買って土地を持った人が不法投棄の物は処分しなさいというきまりがあります。それが産業廃棄物かわかりませんが、今お持ちの方が処理していただかないと、難しい問題でございます。

川合市長 今の問題は、問題の中身が私はよく見えておりませんので、よく検討させていただいて、環境と建設と両方にまたがる問題であれば、あっち行ってください、こっち行ってくださいということにならないように配慮していきたいと考えております。

《市政の優先順位》

意見 市長さんは、いろんな分野のことを網羅してお仕事をしていると思うんですけども、どういうところから先に手をつけようとか思っているのですか。

川合市長 既に手がつけられているものは、問題がない限りは進めていかなければならないです。事業の中で何を優先していくかということ、まず子どものためになるかどうか、それをまず第一に、それから多くの市民の皆さんのためになるかどうか、ということから考えて優先順位をつけています。

《政務調査費》

意見 政務調査費をやめてしまって歳費の中から出してもらうことを提案します。

政務調査費で支払って本を買ったのはどっちの財産なんですか。その政務調査費の本代、図書館から借りたらどうですか。政務調査費の中から買った本を図書館に寄附してもらって、市議会議員が読んだ本とそこに陳列をしていただく。コスト削減に向けて取り組んでいただきたい。

川合市長 政務調査費というのは議員さんに支給されるものですから、その議員さんが

買った本は、やっぱり議員さんの所有になるんだろうなというふうに推測します。

理想的な形としては、調べたいというときは、そこへ行けば調べられるという、国会図書館みたいなものができるのが理想的だと思います。ただ、市が使える予算では余り充実した内容の図書館のようなものはできないという、そういう問題はあると思います。

政務調査費については、やはり議会の同意といいますか、それが必要になってきますので、議会に理解していただけないと実現しないと認識しています。もちろん今、議会でも検討をしつつあると私は認識しております。

《伊佐沼の整備、タウンミーティング》

意見 伊佐沼の鴨田地区としては水辺のオアシスというものを考えていただいて、伊佐沼に子どもたちが自由に来て遊べるような場所にできる余地がまだあると思います。そういう場に参加できるのなら声をかけていただければいろんな意見も出させてもらえらると思います。

また、これからもミーティングをずっと続けていただき、発展させていただきたいというのが私の希望でございます。

意見 伊佐沼に日本橋を木造で昔の形で復元すればおもしろいと思います。

川合市長 タウンミーティングについては、それぞれの地区を一通り終わりましたら、各職域とか職業団体とか、そういう人たちからご意見をお聞きするような場をつくっていきたいと考えております。多くの方がいろんな意見を出してくれば、その中にはクリーンヒットになるようなご意見も必ずあると思うのです。そういうのをどんどん採用すれば、市民の皆様のためになるような行政ができるようになっていくのではないかと考えております。

日本橋というのはご意見としてお聞きしておきます。自然のままのほうがいいよ、余り手を加えないほうがいいよという、ご意見の方もいらっしゃるようですので、ご意見として承っておきます

《市の調査機能》

意見 日本中にある市で、市政のホームランに値するような行政があると思うのですが、他市のクリーンヒットを集めるような課とか組織などはあるのでしょうか。

西川総合政策部長 各部で先進市の事例を研究していますが、全体的なところは総合政策部でも対応しているところでございます。

《市庁舎》

意見 市庁舎についてですが、耐震問題があって建てかえということですがけれども、以

前の計画は白紙撤回されたというようなことも伝え聞いているんですけども、川合市長さんはどのようなお考えをお持ちかお聞きしたいものだと思っております。

川合市長 川越駅西口というのは到底できないということで白紙という主張です。

ただ、建てかえなければならない時期に向けて準備をしていかなければならない。建てかえには 100 億を超えるお金が必要になると考えられます。全部用意できなくても、半分ぐらい用意すれば、お金を調達することはできるようになるということですが、一定程度のお金をためなければならぬ、その期間が多分 10 年はかかるだろうと思います。現在のところを使いつつ 10 年計画で建てかえるという考えでおります。場所についてはこれから、多分 2、3 年はかかると思うのですが決めていく、いろんな影響調査とかご意見を伺いながら決めていくという考えでおります。

江田代表監査委員 この 4 月 1 日で監査委員の代表にご指名をいただきました。

今 100 年に一度の経済危機があります。市民の皆様方からの血税を行政のほうに納めていただいております。こういう状況ですので、最少の経費で最大の効果を出すためにはどうしているのかというところを監査する立場でございますので、そういった意味におきましても一生懸命頑張っていきたい、このように思っております。

ご意見用紙に対する見解

川越市駅と霞ヶ関駅の間に新駅をつくり、周辺を整備してください。

【見解】川越市駅と霞ヶ関駅の中間に位置する地域周辺の開発につきましては、以前、新総合センター地区として検討した経緯がございます。

しかしながら、開発の主体となる住宅・都市整備公団が事業方針を変更し、こうした開発事業から撤退したことやバブル経済の崩壊など、開発に係る環境が大きく変化したため、この地区の開発については平成9年度に凍結となり、現在に至っております。また、現下の経済不況や将来の人口減少社会を鑑みると、今後の開発の可能性についてもたいへん厳しい状況であると認識しております。

川越駅西口の市有地を売却して、そのお金を都市計画のために活用してください。

【見解】川越駅西口の市有地につきましては、市にとって貴重な財産であるとともに、川越駅西口周辺の整備を進める中で重要な土地ですので、有効活用に向けて検討してまいります。

神明町車庫を川島へ移動し、車庫周辺にバス利用者のための駐車場を設け、川越市駅 - 霞ヶ関駅間の新駅からのバス路線を設けて乗り入れれば、国道245号の渋滞が緩和します。

【見解】自家用車から公共交通機関に乘換を促すパーク＆ライドシステムにつきましては、本市といたしましても社会実験等を行い、研究を行なってまいりました。今回の東武バスの神明町車庫の一部を川島に持っていき、周辺に駐車場を設けてバスに乗換を促す、パーク＆バスライドにつきましても、事業者・地権者の協力と投資・運用費用の負担も含めて、実施が可能であれば本市の交通対策として望ましい施策と考えられます。

しかし、西川越駅北側の新駅につきましては現在白紙状態のため新駅へのバス路線についての見通しは立ちません。また川島町内に神明町車庫の機能を移転し、周辺に駐車場を整備し運営を成り立たせることは、需用の予測、必要な用地の確保、バス路線の再編など、バス事業者においても土地所有者にとっても大きな投資とリスクが伴うことが考えられます。

これらのことから、今回のご提案につきましては、現在の状況においては非常に困難なものと考えられます。

現在本市では、バスの利便性を高め自家用車からの転換を促すため、バスロケーションシステムを活用したバスの総合案内板などの整備をバス事業者と検討しております。また、中心市街地への自家用車の流入を抑制するため、県において北環状線の整備を進めるとともに、中心市街地周辺部に郊外型の駐車場を設置するなどの整備を進めているところです。

川越市駅の地下に改札口を設けてください。西武新宿線を地下へ引き込み、その上を道路にしてください。川越市駅、本川越駅の地下をつなぐ地下街をつくってください。また、本川越西口開設のため開発を進めてください。

【見解】現在、川越市では、少子高齢化や社会経済状況の大きな変化を踏まえまして、既存ストックの有効活用を図りながら、三駅間（川越駅、川越市駅、本川越駅）の連携を強化した都市核を形成するために、三駅周辺における将来都市像の検討を行っております。

また、本川越駅は東側にのみ開口部があるため、川越市駅との乗り換えに際しては駅の北側を大きく迂回する形となり、乗り換えに要する時間や歩行者の安全の面からも現状の改善が求められているところです。

こうした現状を踏まえ、市では過年度に本川越駅の西側に位置する用地を取得させていただきました。現在は、取得した用地から川越市駅方面に向かう連絡道路の検討及び関係権利者との調整を進めているところです。

今後は、このたびいただきました提言内容も参考にしながら、より魅力的なまちづくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解ご協力を賜りたく存じます。